

第2学年・学級活動『わたしの誕生・その2』

- 1) 日 時 …… 平成 年 月 日 () 校時
- 2) 場 所 …… 校時 室
- 3) 単元名 …… 『わたしの誕生・その2』
- 4) ねらい …… ○自分が、母親の胎内で発育してきたことを知り、自分をはじめ友だちみんなが周囲の人たちの深い愛情で生まれていることに気づく。
- 5) 主題設定の理由 …… 2年生も後半になると友だちとの関わりも増え、グループ遊びや活動的な遊びをする子がみられるようになってくる。それとともに、意見の対立や力関係も生まれるようになり、お互いを認め協調していこうという気持ちを育てることが大切となる。また、情報化社会の中で、性に関する好ましくない情報を目にする機会も増えている。
- そこで、人間ひとりひとりが周囲の愛情で生まれていることを学ばせ、友だちを思いやる気持ちや、お互いに認め合う気持ちを育てたいと思う。また、周囲になにげなく折り込まれている性情報に対しても判断力を育て、より良いものを選び取るようになってほしいという願いを込めて、この主題を設定した。
- 6) 児童の実態 …… (省略)
- 7) 展 開 ……

	指導事項	児童の活動と指導内容	指導上の留意点
5分	・生まれた頃の様子	○記念の品物を見て話し合う。 ・ベビー服 ・くつした等	(借用した品物)
5分	・生まれる前の自分	○命をどのようにしてもらったか考える。 ・父母の出会い ・父母の半分ずつもらった命 ・胎内での成長	(掲示用の父母の絵) ・針の先でつづいた黒い紙を用意する。
20分	・生まれる前の自分	おなかの中での成長を考えてみよう。	・父母の心情を折り込んで説明するが、単親家庭の児童への配慮を欠かないようにする。 ・仮死状態の危機や胎児の生まれようとする力についてふれるようにする。

5分	・周囲の人たちの願い	○生まれるまでの父母等の気持ちを知る。 ・誕生を待ちわびる心情 ・病気の心配 ・対面したときの感激	・事前に父母の心情を聞いておき、児童向けに作文して、担任の声でテープに録音しておく。(録音テープ)
10分	・まとめ	○お手紙(○○あのね。)を書く。 ・父母へ ・担任へ ・その他へ	

8) 評価 自分が母親の胎内で大切に育てられたことがわかり、ひとりひとり大切な命を持っているということに気づいたか。

9) 日常化への手立て 日々の学級活動において、相手の気持ちを考えたり、男女を問わずに仲良くしたりすることの大切さをくり返し指導していきたい。また、男女が協力してやりとげる学習を多く取り入れたりして、ひとりひとりを尊重する態度を養っていきたい。